

急性中耳炎の診断で当院耳鼻咽喉科で加療を受けられた患者さんにご家族のみなさんへ「お知らせ」と「お願い」

このたび当院小児科では、下記の臨床研究を実施いたします。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします

## 研究課題名

肺炎球菌結合型ワクチン導入後における小児肺炎球菌中耳炎例の検討

## 研究の対象

2007年1月から2013年12月までに、当院耳鼻咽喉科で急性中耳炎と診断された15歳未満の患者さんのうち、鼓膜切開または鼓膜穿刺によって採取された中耳貯留液培養が提出された450名の患者さん

## 研究の意義・目的

肺炎球菌結合型ワクチン導入によって、小児肺炎球菌性中耳炎例が減少したかを調査し、肺炎球菌結合型ワクチンの急性中耳炎発症予防効果を明らかにします。

## 研究方法

1. この研究は中耳貯留液培養検査の結果と肺炎球菌結合型ワクチンの接種歴についての記録をカルテから抽出して行います。対象患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
2. この研究は対象患者さんの個人情報はありません。また、過去に採取させていただいた中耳貯留液そのものをあつかうこともありません。
3. 研究成果については、関連学術雑誌での公表を予定していますが、その際も対象患者さんの個人情報は含まれません。

## 研究期間

2015年6月当院倫理委員会承認後～2016年3月31日を予定

## 連絡先

この研究に関するお問い合わせ、研究計画に関する資料の閲覧、および研究対象者の方で対象からはずれることをご希望の場合は、下記までご連絡下さい。

当院こどもセンター小児科部長 佐藤厚夫

当院こどもセンター小児科 豊福明和

電話番号：045-474-8111（代表）